

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	水環境保全活動等推進経費	事業開始年度	平成10年度以前	作成責任者		
担当部局庁	水・大気環境局	担当課室	水環境課	水環境課長 森北 佳昭		
会計区分	一般会計	上位政策	大気・水・土壌環境等の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	水質汚濁防止法第十四条の四	関係する計 画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	水質汚濁の原因の一つとなっている生活排水について、これを改善していく取組みが必要なため、本事業では、国民等を意識啓発し、様々な主体による水環境保全活動・取組の普及・促進を図り、総合的な生活排水対策の推進を図る。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・水質汚濁の原因の一つとなっている生活排水についての意識啓発事業の実施。 ・河川等の水質及び水辺環境の保全のための水辺環境保全活動の促進。 ・名水百選などをはじめとする優れた水環境保全活動に取り組んでいる各種主体との連携。 					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や企業を通じて生活排水対策の意義や効果を理解し、家庭で取り組むインセンティブを引き出すための教育教材案を作成した。 ・一般国民等と協働し全国規模で水生生物調査を行い、また調査を効果的、効率的に実施するためのシステムを運営した。システムの運用においては、ハード面で既存の他のシステムの基盤を共有し、システムの効率的な運用と経費の削減を図った。 ・水辺環境保全活動に取り組んでいる民間団体等と各地方環境事務所が協働し、その取組事例を収集、とりまとめ、水質保全活動の取組の普及を図った。 ・「名水サミット」「きれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会」を地方自治体や民間団体等とともに開催し、水質環境保全活動に取り組む各種主体との連携強化の促進を図った。 ・「子どもホタルンジャー」を実施し、ホタル生息状況から見る水環境の健全性を調査するとともに、調査結果報告会及び優れた調査研究事例の顕彰(環境大臣表彰)を行い、ホタルの保護を通じた水質及び水生生物生息環境の保全の取組を促進した。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	44	28	42	33	33
	執行額	34	31	34		
	執行率	77.3%	110.7%	81.0%		
	総事業費(執行ベース)	34	31	34		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体や民間団体等と連携・協働して各事業を効果的に実施し、その成果を共有・公表し、水環境保全活動が促進されるよう事業を進めている。 ・シンポジウムや会議等の実施においては、適宜、環境省職員を派遣し、適正に事業が実施されたか確認している。 ・担当職員が事業の進捗や実施方法等について請負事業者と綿密に調整しながら、事業を進めている。 				
	見直しの 余地	<ul style="list-style-type: none"> ・一般国民等の水質保全に関する知識、特に生活排水対策に関する知識の普及は、国の責務とされており、今後とも一般国民への意識啓発を図ることが必要。特に、水辺の保全活動や水生生物調査などフィールドワークを通じた取組の促進を図ることにより、各主体の実際の取組に繋げていくことが必要。 ・国や民間で行われている水環境に関する普及啓発活動との連携を強化し、本事業の効果を高めていくことが必要。 ・今後も引き続き、競争性の高い調達に努め、予算の効率的、効果的な執行に努めていく。 				
予算 監視 の 効率 の 所見	<p>一部廃止 (水質環境保全活動に取り組む各種主体との連携強化に係る事業については、長期にわたり継続しており、所期の目的が達成されたため廃止。)</p>					
補 記						

環境省
26 百万円
事業の企画・立案

環境省・地方環境事務所
8 百万円
事業の企画・立案

【企画競争】
A (株)三菱総合研究所
7 百万円
環境教育教材(生活排水対策)の作成

【随意契約】
B (株)富士通FIP
3 百万円
全国水生生物調査システムのシステム保守・運用

【少額随意契約】
C (株)日水コン
1 百万円
全国水生生物調査のデータ解析

【総合評価入札】
D (財)水と緑の惑星保全機構
10 百万円
ホタレンジャー事業の実施

【一般競争】
E (有)ワイス・ディレクション
1 百万円
きれいな水を守る全国大会運営

【少額随意契約】
F (社)日本の水をきれいにする会
1 百万円
きれいな水を守る全国大会企画

【分担金】
G 島根県・海士町
3 百万円
名水サミットの実施

<北海道地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境保全活動の実施

<東北地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境保全活動の実施

<関東地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境保全活動の実施

<中部地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境保全活動の実施

<近畿地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境保

<中国四国地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境保全

<高松事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境

<九州地方環境事務所>
1 百万円
民間団体等の水辺環境

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(株)三菱総合研究所			G.島根県・海士町		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	環境教育教材(生活排水対策)普及事業	7	分担金	名水サミットの実施に係る国の分担金	3
計		7	計		3
B.(株)富士通FIP					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
雑役務費	全国水生生物調査システムの再統合及び運用支援	3			
計		3			
D.(財)水と緑の惑星保全機構					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
雑役務費	こどもホタルンジャー事業推進	10			
計		10			
E.(有)ワイズ・ディレクション					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
雑役務費	きれいな水と美しい緑を取りもどす全国大会運営	1			
計		1			

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)